

2023 年度 4 年次アンケート調査の結果報告

本学では、毎年 12 月～3 月にかけて、4 年次を対象とした「教育・学生生活に関するアンケート調査」（以下「4 年次アンケート」と表記）を行っている。このアンケート調査は、学部最終学年である 4 年次の学生が、本学の教育内容や学生生活についてどのような意識を持っているのか、また本学学生の学習実態などを明らかにすることで、今後の教育改善に活かすことを目的としている。ここでは、2023 年度に実施した 4 年次アンケートの主な項目の分析結果を中心に報告する。なお、回答人数が少なくかつ旧課程の専攻である史学専攻（3 名）、英語文学文化専攻（1 名）、言語科学専攻（1 名）は、分析の対象から除いた。

調査概要は以下の通りである。

目的：東京女子大学に通っている学生の学習及び大学生活に関する意識・実態調査

方法：Web 調査

対象：東京女子大学に在籍している 4 年次学生、919 名（2024 年 1 月 1 日時点）

調査期間：2023 年 12 月 11 日～2024 年 3 月 26 日

有効回答数：786 名

有効回答回収率：85.5%

調査項目：アンケートの調査票は「基本事項」、「学業」、「学生生活」、「課外・学外の活動」、「学修支援」、「進路」、「その他」（自由記述）の項目で構成している。

本報告書では、「学業」に関する項目から、大学 4 年間の学生生活を通じての授業に対する満足度や、身についたと思うスキル・能力等を報告する。

また、本報告書で用いるデータは全数調査によるものなので有意確率（ p 値）は報告せず、平均値・標準偏差および効果量（ η^2 ）のみを報告する。なお、 η^2 については、Cohen(1988)の基準 $\eta^2 = .01$ （small）， $\eta^2 = .06$ （medium） and $\eta^2 = .14$ （large）を用いた。

参考のため過去 5 年間の回収率を表 1 に示しておく。2020 年度は、調査方法を質問紙調査から Web 調査へ変更した初年度のため、回収率が例年より低くなっている。

表 1 年度別に見た 4 年次アンケートの回収率

2018 年度	2019 年度	2020 年度 (Web 調査)	2021 年度 (Web 調査)	2022 年度	2023 年度 (Web 調査)
83.8%	85.9%	76.3%	85.6%	80.9%	85.5%

(1)授業に対する満足度の集計・分析結果

「授業全般」、「全学共通カリキュラムの科目の授業」、「第一外国語科目等の英語の授業」「第二外国語科目の授業」「学科科目（専門）の授業」「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」の6つのカテゴリー別に、大学4年間の学修を通じての授業の満足度を尋ねたところ、表2のような結果となった。「大変満足している」、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」の肯定的な回答3つを合計した割合は、「授業全般」「全学共通カリキュラム」「学科科目（専門）の授業」「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」の項目で9割以上であった。「第一外国語科目等の英語の授業」「第二外国語科目の授業」も8割を超えており、授業に対する満足度は全体的に高いと言える。

表2 授業に対する満足度

	大変満足 している	満足 している	どちらかと 言えば満足 している	どちらかと 言えば満足 していない	満足 していない	全く満足 していない
	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)	% (n)
授業全般 (n=756)	15.5 (117)	46.8 (354)	29.5 (223)	6.0 (45)	1.6 (12)	0.7 (5)
全学共通 カリキュラム (n=756)	15.2 (115)	46.2 (349)	31.7 (240)	4.8 (36)	1.7 (13)	0.4 (3)
第一外国語科目等 の英語の授業 (n=756)	13.4 (101)	35.1 (265)	36.8 (278)	10.2 (77)	3.8 (29)	0.8 (6)
第二外国語科目の授業 (n=756)	18.9 (143)	37.8 (286)	30.2 (228)	8.3 (63)	3.2 (24)	1.6 (12)
学科科目（専門）の授業 (n=756)	26.1 (197)	47.9 (362)	21.2 (160)	4.0 (30)	0.7 (5)	0.3 (2)
卒業論文、 Final Presentation、 数学講究、情報理学講究 (n=756)	27.2 (206)	42.6 (322)	23.5 (178)	3.4 (26)	2.2 (17)	0.9 (7)

授業に対する満足度を専攻別に比較するため、まず「大変満足している」＝6、「満足している」＝5、「どちらかと言えば満足している」＝4、「どちらかといえば満足していない」＝3、「満足していない」＝2、「全く満足していない」＝1 と点数化し、それぞれの項目の平均値及び標準偏差を算出した（表3～表8）。

表3～表8は、専攻別に見た授業に対する満足度に関する6項目の平均値および標準偏差を示している。全ての項目かつ専攻で、満足度の平均値が4.0以上となった。効果量は小さく、全ての項目で専攻による違いは見られない。

表3 専攻別に見た「授業全般」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.57	0.972	107	$\eta^2 = .023$
哲学	4.73	0.828	30	
日本文学	4.89	0.805	63	
歴史文化	4.79	0.977	80	
国際関係	4.74	0.700	96	
経済学	4.47	0.838	59	
社会学	4.69	1.062	45	
コミュニティ構想	4.78	0.996	50	
心理学	4.76	0.877	76	
コミュニケーション	4.49	0.922	98	
数学	4.62	1.147	29	
情報理学	4.39	0.722	23	
合計	4.67	0.909	756	

表4 専攻別に見た「全学共通カリキュラムの科目の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.60	0.899	107	$\eta^2 = .026$
哲学	4.70	0.952	30	
日本文学	4.98	0.751	63	
歴史文化	4.75	1.000	80	
国際関係	4.68	0.801	96	
経済学	4.42	0.835	59	
社会学	4.71	0.895	45	
コミュニティ構想	4.76	0.847	50	
心理学	4.70	0.749	76	
コミュニケーション	4.61	0.869	98	
数学	4.72	1.162	29	
情報理学	4.30	0.876	23	
合計	4.67	0.878	756	

表 5 専攻別に見た「第一外国語科目等の英語の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.55	1.057	107	$\eta^2 = .033$
哲学	4.23	0.898	30	
日本文学	4.57	0.893	63	
歴史文化	4.50	1.067	80	
国際関係	4.57	0.915	96	
経済学	4.02	1.225	59	
社会学	4.56	1.013	45	
コミュニティ構想	4.50	0.931	50	
心理学	4.16	1.071	76	
コミュニケーション	4.28	0.917	98	
数学	4.55	1.213	29	
情報理学	4.48	0.846	23	
合計	4.42	1.020	756	

表 6 専攻別に見た「第二外国語科目の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.62	1.155	107	$\eta^2 = .017$
哲学	4.63	1.033	30	
日本文学	4.76	1.088	63	
歴史文化	4.59	1.177	80	
国際関係	4.55	1.004	96	
経済学	4.49	1.104	59	
社会学	4.62	0.960	45	
コミュニティ構想	4.80	1.010	50	
心理学	4.49	1.039	76	
コミュニケーション	4.29	1.103	98	
数学	4.66	1.173	29	
情報理学	4.48	0.994	23	
合計	4.56	1.083	756	

表 7 専攻別に見た「学科科目（専門）の授業」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.76	0.970	107	$\eta^2 = .054$
哲学	5.10	0.803	30	
日本文学	5.24	0.734	63	
歴史文化	5.08	0.925	80	
国際関係	4.91	0.712	96	
経済学	4.64	0.846	59	
社会学	4.87	0.919	45	
コミュニティ構想	5.06	0.935	50	
心理学	5.26	0.700	76	
コミュニケーション	4.81	0.782	98	
数学	4.90	0.900	29	
情報理学	4.61	0.783	23	
合計	4.94	0.854	756	

表 8 専攻別に見た「卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究」に対する満足度

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.62	0.968	107	$\eta^2 = .044$
哲学	5.17	0.791	30	
日本文学	5.05	0.906	63	
歴史文化	4.96	1.141	80	
国際関係	4.64	0.996	96	
経済学	4.71	0.911	59	
社会学	4.96	0.952	45	
コミュニティ構想	5.10	0.886	50	
心理学	5.17	0.790	76	
コミュニケーション	4.69	1.059	98	
数学	5.03	1.267	29	
情報理学	4.91	0.793	23	
合計	4.86	0.989	756	

次に、表 2 にある 6 項目の得点を合計し項目数で割った項目平均 (n=756, M=4.69, SD=0.744, 最大=6, 最小=1, 因子分析で一次元性も確認。 $\alpha = .868$) を算出し (以降「授業満足度得点」とする)、専攻別に満足度得点を比較した。

表 9 は、専攻別に見た授業に対する授業満足度得点の分析結果である。全ての専攻で、平均値が 4.0 以上であり、授業に対する満足度が高いと言える。効果量は小さく ($\eta^2 = .030$)、授業満足度得点に関する専攻の差は見られない。

表 9 専攻別に見た授業満足度得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.62	0.823	107	$\eta^2 = .030$
哲学	4.76	0.663	30	
日本文学	4.92	0.645	63	
歴史文化	4.78	0.838	80	
国際関係	4.68	0.650	96	
経済学	4.46	0.713	59	
社会学	4.73	0.804	45	
コミュニティ構想	4.83	0.772	50	
心理学	4.76	0.615	76	
コミュニケーション	4.53	0.713	98	
数学	4.75	0.968	29	
情報理学	4.53	0.649	23	
合計	4.69	0.744	756	

図1～図6は、2019年度～2023年度の授業満足度について、「大変満足している」「満足している」「どちらかと言えば満足している」の回答結果を比較したグラフである。

「第一外国語科目等の英語の授業」と「第二外国語科目」の肯定的な回答の合計値は、他の項目と比べて低い傾向があり、若干物足りなさを感じているようである。その他の項目は2019年度から概ね90%以上を維持しており、本学の授業に対する満足度は非常に高いと言える。

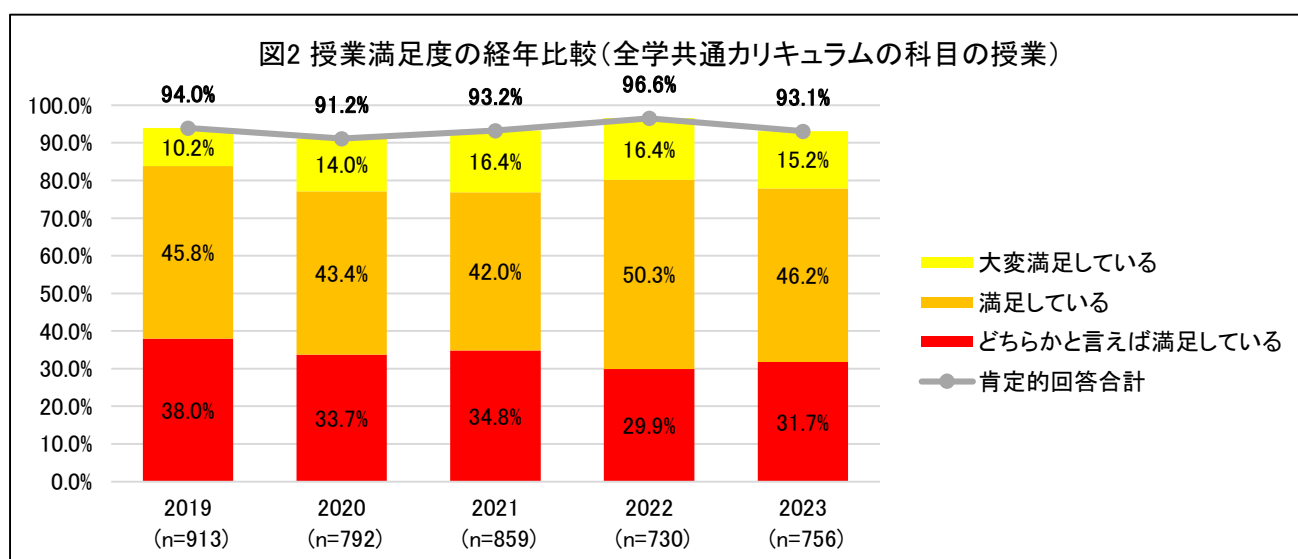
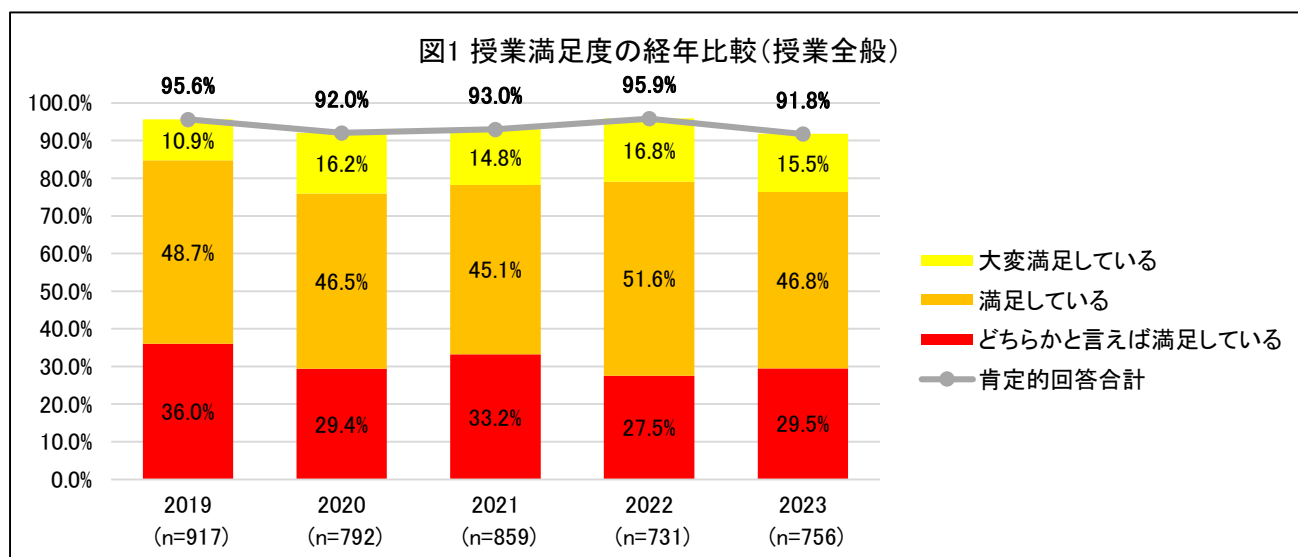


図3 授業満足度の経年比較(第一外国語科目等の英語の授業)

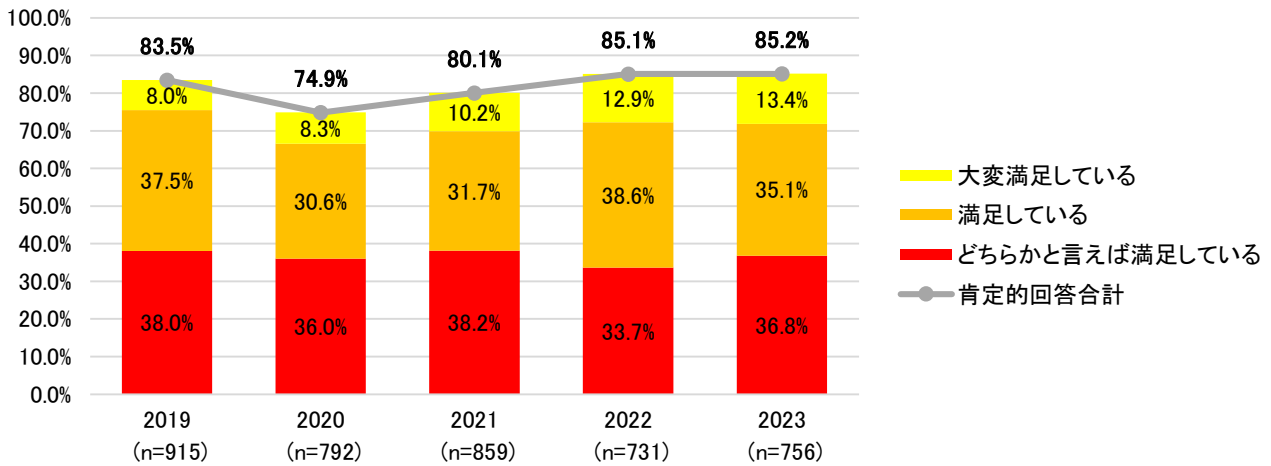


図4 授業満足度の経年比較(第二外国語科目)

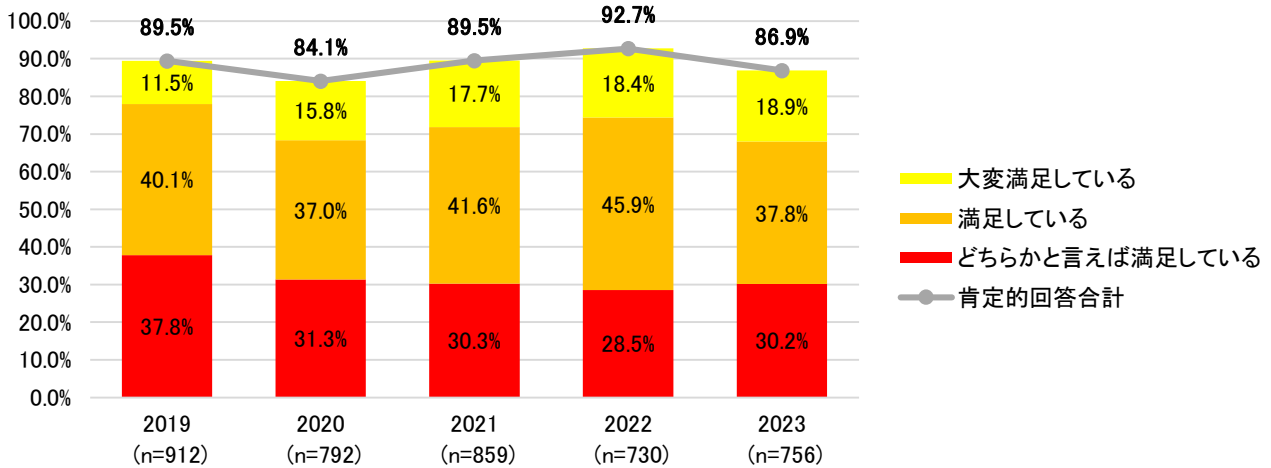


図5 授業満足度の経年比較(学科科目(専門)の授業)

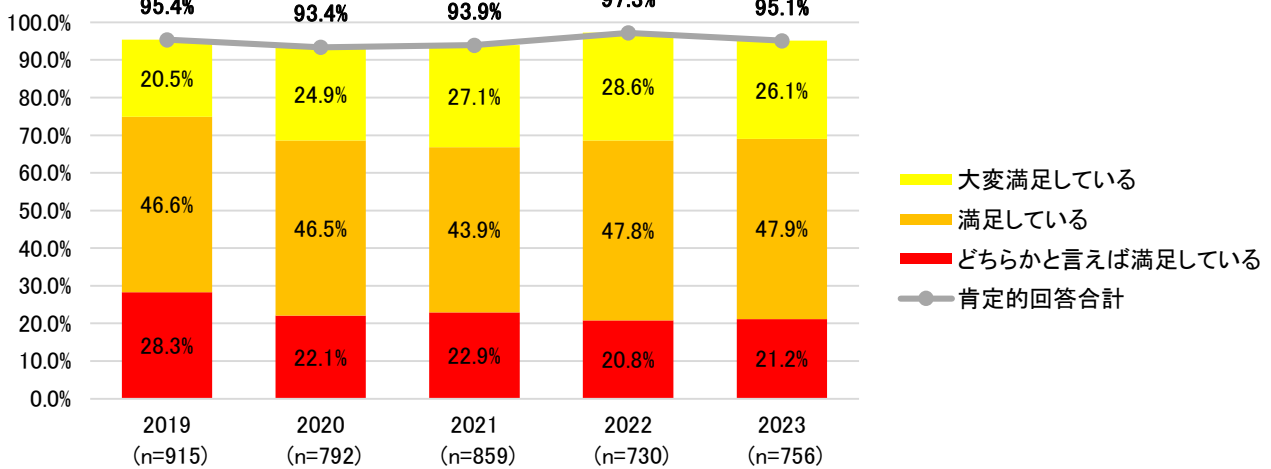
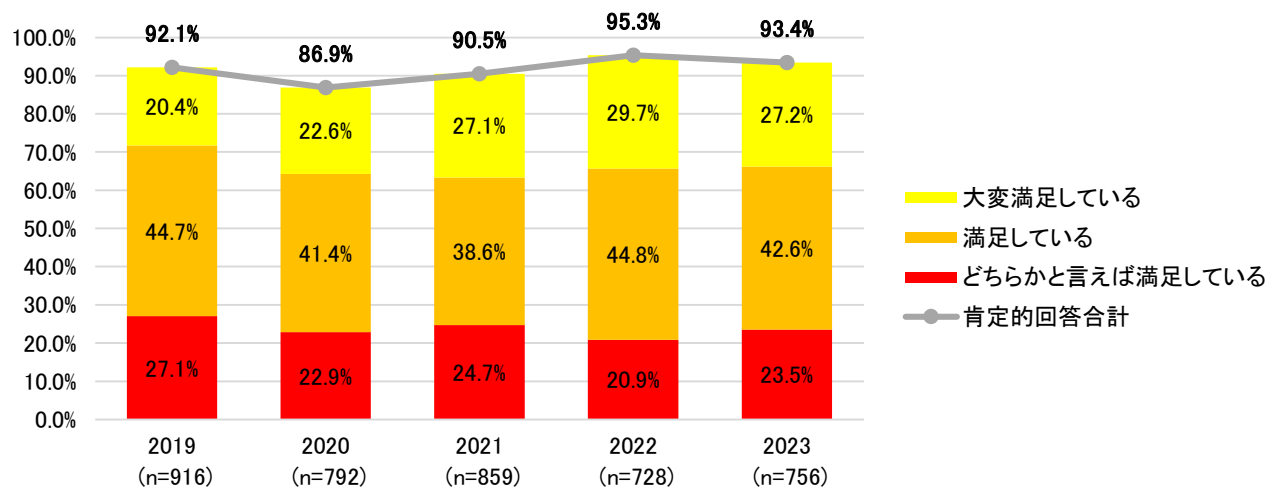


図6 授業満足度の経年比較
(卒業論文、Final Presentation、数学講究、情報理学講究)



(2) 理解が深められたと思う項目の集計・分析結果

図7は、「大学での4年間の学びを通じて理解を深めることができたと思うこと」を調べるため、「日本の歴史と文化に対する理解」「多文化・異文化に対する理解」「国際的な諸問題に対する理解」「現代社会で生起する諸問題に対する理解」「自然や環境問題に対する理解」「自己の身体に対する理解」「キリスト教に対する理解」「ジェンダー問題に対する理解」「自分の専攻分野に関する理解」「自分の専攻分野に隣接する分野の理解」の10項目について集計した結果である。

「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の肯定的な回答3つを合計した割合を見ると、「自分の専攻分野に関する理解」が最も高く、96.9%だった。次に「ジェンダー問題に対する理解」で95.9%、「キリスト教に対する理解」の92.4%であった。

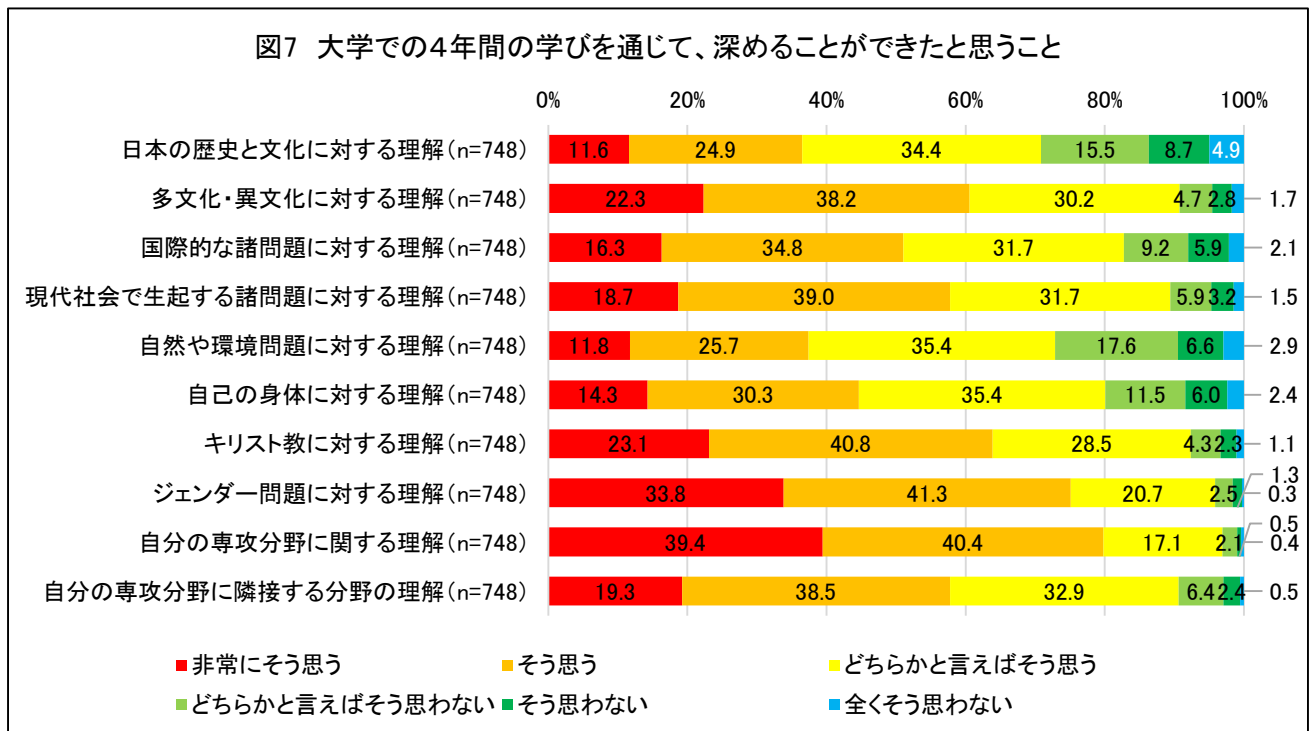


図 7 に示した 10 項目について、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「理解総合得点」(n=748, M=4.56, SD=0.743, 最大=6, 最小=1 ; 因子分析で一次元性も確認。α = .878) として、専攻別に理解総合得点を比較した。

表 10 は、専攻別の理解総合得点である。平均値が一番高い専攻で M=4.83、一番低い専攻で M=4.00 だった。効果量は中程度 ($\eta^2 = .063$)、専攻間における理解総合得点の差が中程度見られた。

表 10 専攻別の理解総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.57	0.758	105	$\eta^2 = .063$
哲学	4.60	0.631	30	
日本文学	4.62	0.746	62	
歴史文化	4.83	0.741	80	
国際関係	4.74	0.639	96	
経済学	4.29	0.758	59	
社会学	4.68	0.592	45	
コミュニティ構想	4.70	0.735	50	
心理学	4.39	0.654	75	
コミュニケーション	4.44	0.726	94	
数学	4.50	1.029	29	
情報理学	4.00	0.791	23	
合計	4.56	0.743	748	

(3) 身につけたスキルに関する項目の集計・分析結果

図8は「大学4年間の学びを通じてどのようなスキルや力を身につけることができたと思うか」を調べるため、「学術的な文献の読解力」、「人の話を聞いて、要点をつかむ力」、「プレゼンテーションにおいて、効果的に話をする力」、「ディスカッションにおいて、論理的に意見を述べる力」、「論理的でわかりやすい文章を書く力」、「わかりやすいプレゼンテーション資料を作成する力」、「パソコンで図表を作成する力」、「課題に応じて、適切な資料を収集する力」、「相手や場面に応じたコミュニケーション力」、「グラフや表で示された統計資料を理解できる力」の10項目について分析したものである。

全ての項目で「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の肯定的な回答3つを合計した割合が8割を超え、本学での学びを通して汎用的なスキルを身につけられたと考えている学生が多い事が分かった。中でも、「人の話を聞いて、要点をつかむ力」と「課題に応じて、適切な資料を収集する力」が最も高く、94.0%だった。次に「学術的な文献の読解力」の93.2%、「相手や場面に応じたコミュニケーション力」の92.8%であった。

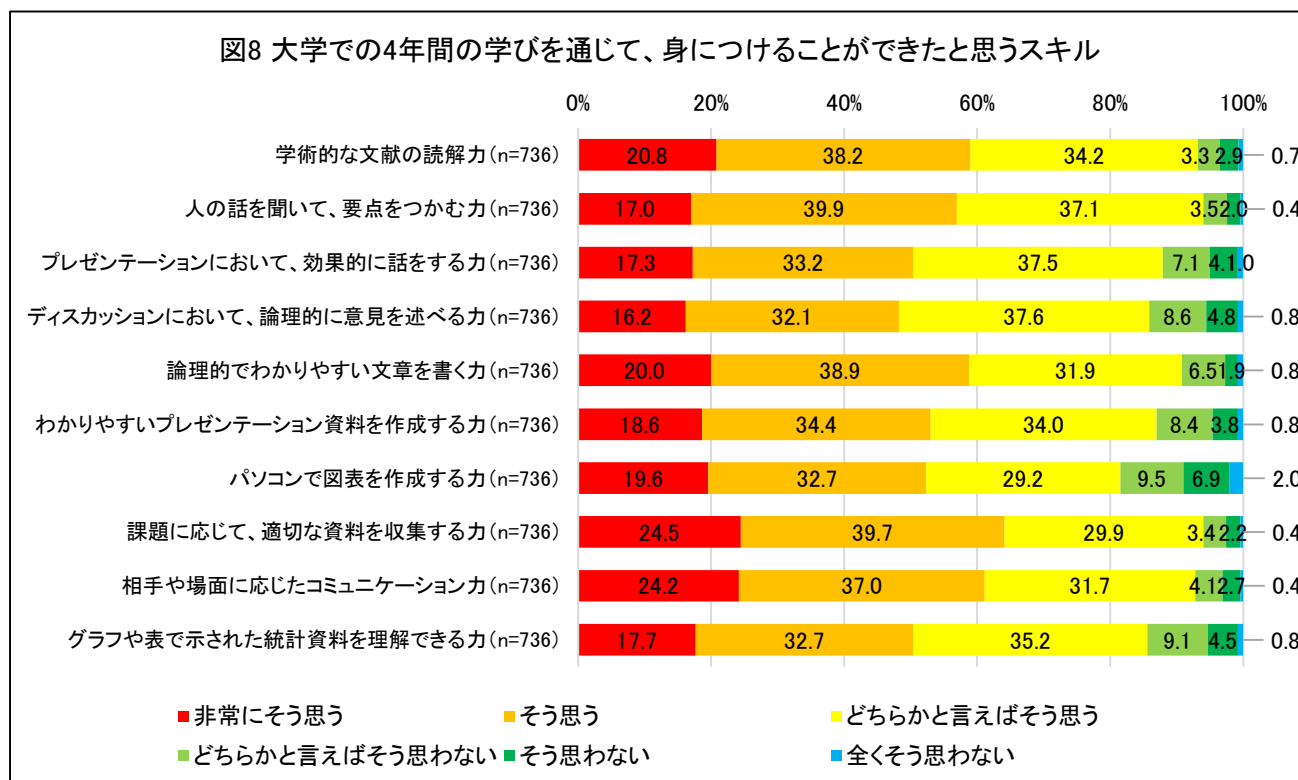


図 8 に示した 10 項目についても、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「スキル総合得点」(n=736, M=4.59, SD=0.803, 最大=6, 最小=1; 因子分析で一次元性も確認。α = .929) として、専攻別にスキル総合得点を比較した。

専攻別にスキル総合得点を見ると (表 11)、一番高い専攻で M=4.77、一番低い専攻で M=4.39 だった。効果量は小さく ($\eta^2 = .017$)、スキル総合得点に関する専攻の差は見られない。

表 11 専攻別のスキル総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.63	0.805	104	$\eta^2 = .017$
哲学	4.39	0.814	30	
日本文学	4.69	0.863	62	
歴史文化	4.62	0.824	78	
国際関係	4.44	0.744	95	
経済学	4.60	0.628	56	
社会学	4.77	0.735	45	
コミュニティ構想	4.74	0.857	48	
心理学	4.66	0.642	72	
コミュニケーション	4.52	0.845	94	
数学	4.49	1.006	29	
情報理学	4.46	1.084	23	
合計	4.59	0.803	736	

(4) 身についた能力に関する項目の集計・分析結果

図9は、「大学での4年間の学びを通じてどのような能力を身につけることができたと思うか」を調べるため、「問題を発見し、的確に把握する力」、「状況を的確に判断する力」、「課題に応じ、収集した情報を、効果的に活用する力」、「物事を偏りなく多角的に検討する力」、「問題を解決する力」、「肯定的な意味で批判的に考える力」、「数字やデータに基づいて物事を考える力」、「自らを律して行動できる力」、「責任感」、「倫理観」、「率先してグループをまとめリードする力」、「人間関係を築いたり調整したりする力」、「主体的に行動する力」、「自主的に学習を継続する力」の14項目について分析したものである。

「数字やデータに基づいて物事を考える力」「率先してグループをまとめリードする力」を除いた12項目で、「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の肯定的な回答3つを合計した割合が8割を超えた。その中でも、「課題に応じ、収集した情報を、効果的に活用する力」「物事を偏りなく多角的に検討する力」「倫理観」が最も高く、92.8%だった。

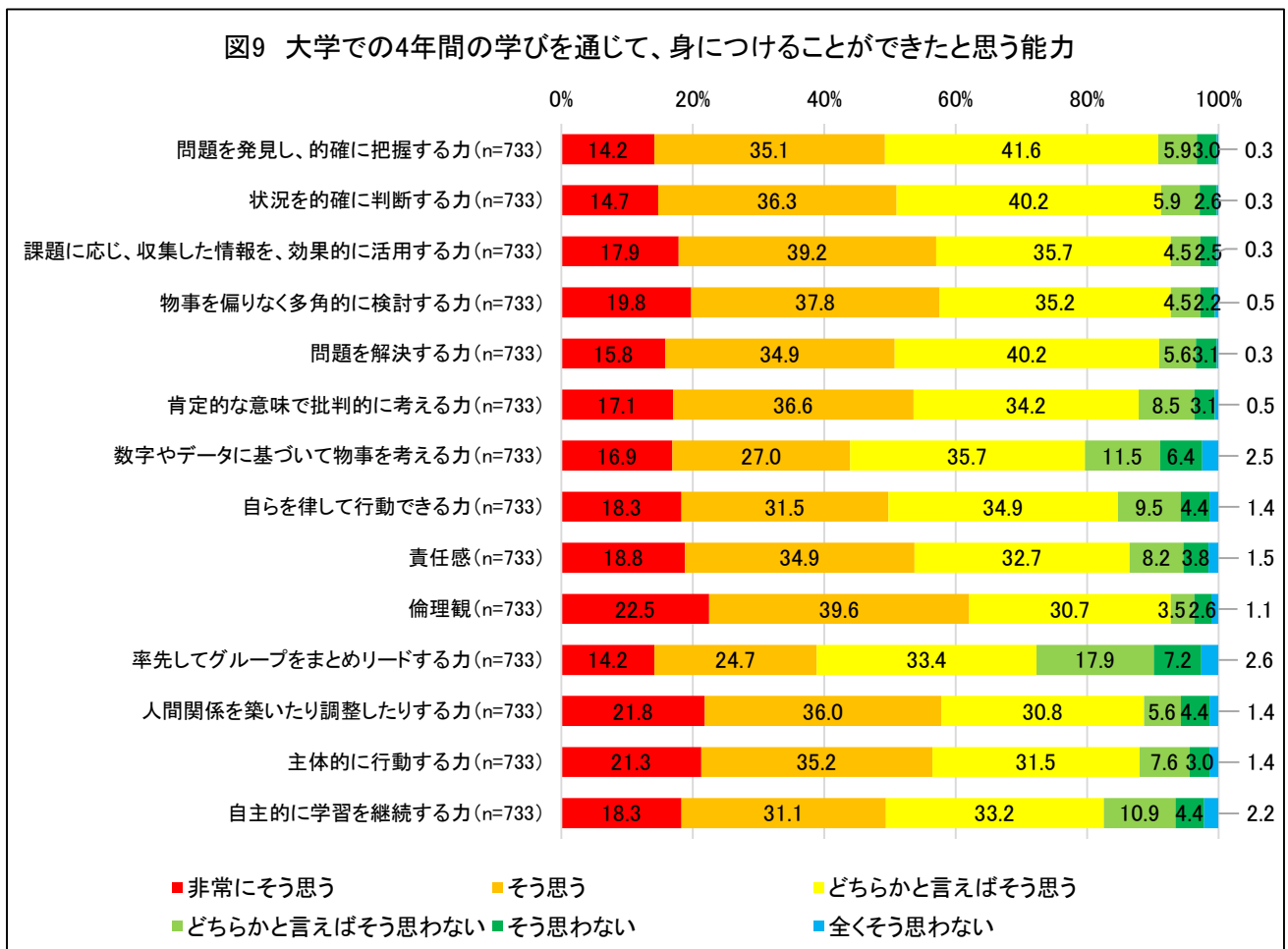


図 9 に示した 14 項目についても、得点を合計しそれを項目数で割った項目平均を算出し、「能力総合得点」(n=733, M=4.51, SD=0.819, 最大=6, 最小=1 ; 因子分析で一次元性も確認。α = .950) として、専攻別に能力総合得点を比較した。

専攻別に能力総合得点を見ると (表 12)、平均値が一番高い専攻で M=4.74、一番低い専攻で M=4.35 だった。効果量は小さく ($\eta^2 = .019$)、能力総合得点に関する専攻の差は見られない。

表 12 専攻別の能力総合得点

専攻	平均値	標準偏差	人数	効果量
国際英語	4.54	0.792	104	$\eta^2 = .019$
哲学	4.42	0.900	30	
日本文学	4.54	0.904	62	
歴史文化	4.67	0.873	77	
国際関係	4.46	0.733	94	
経済学	4.41	0.718	56	
社会学	4.68	0.704	44	
コミュニティ構想	4.61	0.823	48	
心理学	4.46	0.780	72	
コミュニケーション	4.35	0.886	94	
数学	4.74	0.869	29	
情報理学	4.43	0.894	23	
合計	4.51	0.819	733	